

●: 2つ以上の意見

産業

大規模企業(法人税収に大きく寄与するような)の不在
市の資源として市内民間企業の活用, 連携を行う余地がある

デカ盛りやOh!辛チャレンジ, ワンコインナイト, じゃぱんウォークラリーなど, 市内飲食店をPRするイベントの種類が豊富。

デカ盛りなど時代とそぐわない観光コンテンツの存在

調布市を象徴する産業がない。但し第一次、二次産業よりも、現状の調布市の強みを生かすサービス業等第三次産業に力をそそぐのが本筋

飲食店とのイベントの在り方をコロナ禍で考えなくてはいけないと思う。テイクアウトのスタンプラリーにするなど。

個人商店(飲食店)や個人・団体の活動が残っており、街の色として楽しむことができる

多くの人が訪れる駅前エリアの地価が上がるなどして個人商店・飲食・団体が活動しづらくなっている=街の色になる個人の顔が見えづらくなっている

映画, 映像関連企業の立地

企業誘致できるインフラ設備が弱い。
・オフィススペースの充実・イノベーションセンターの設置(スタートアップ企業の支援、市・学校・企業の連携強化)・テレワークがしやすい場所に

創業・起業支援, 経営支援

事業継承, 跡地・居抜き後の活用(深大寺等)

コロナ禍における事業者の実態を地域経済対策会議で議論アンケート調査で把握に努めている

観光振興

深大寺周辺の景観が美しい

深大寺・佐須地域の里山・水辺環境があること。

東日本最古の国宝仏がある深大寺が都内でも代表的な観光スポットとなっていること

「深大寺」を中心とする歴史ある神社仏閣

深大寺だるま市

深大寺, 調布駅前商業施設等の集客を見込める資源の存在。

深大寺までの交通がバスのみ

若者うけする観光名所が少なく感じてしまう

シェアサイクル

シアタス調布があり, 映画のまち調布としてロケツーリズムや各種イベントを推進していること。

水木マンガの生まれたまちであること。

映画ロケの活動, 水木しげる漫画等のソフト面での観光資源の存在

ロケ地マップ, 聖地巡礼マップ

観光資源が豊富(鬼太郎, 映画のまち, 自然, 実篤など)

つげ義春の漫画の舞台である

文化資産が多い(寺, 神社, スポーツ施設etc..)

近藤勇の史跡

大規模花火大会の開催

布田天神, 西光寺, 國領神社(千年乃藤)

神代植物公園

農業

市民農園や農業体験など市民と農業をつなげることのできる取りくみが豊富

荒廃している農地も散見され資源の無駄になっている

農業体験の場の新規開設が伸び悩んでいること

貸農地が市内各地にある

農業において, 少量多品種, 高付加価値品目の生産を行っていること

生産緑地が年々減少し, 住宅地へと転用されていること。

市内スーパーに既に調布産野菜が販売されている

生産緑地制度というものがあると思いますが, 知識が乏しく課題を理解していません

野菜の直売所が市内のあちこちにある

農地を手放す人の増加(可能性)

農地・緑が十分にあり街と憩い両方を楽しむことができる

調布の農作物直売所マップはよくはけている印象。市民は調布の野菜に興味を持っていると思うが, もっとPRしても良いのでは

農業経営者支援

観光は「深大寺」「映画撮影所」「多摩川」「グルメ」等単体ではなくパッケージ化で強化する

それぞれの目的を持って調布に訪れた人に対し, 他の調布の資源をうまく活用してもらえていない。(例: 味スタに観光に訪れた人に, 深大寺観光を促したり, 調布市内の飲食店利用をしてもらうような取り組みが少ない。等)

観光PRを行政に任せっきりにしている

観光資源はあるが, 広報が不足している。

PRが不足している? 武者小路実篤記念館の「たこさんウイナー」ツイートはバズったが, 公式ツイートはあまり盛り上がっていない気がする

観光資源を利用するのみで, 魅せる取り組みが不足している

調布市観光ナビ内のリンクがたまに切れていて勿体ない

● : 2つ以上の意見

利便性・インフラ (ハード)

徒歩・自転車移動できる面積範囲に、歴史・文化、スポーツ・エンタメ、商店、緑・農地などの要素が揃っている

力強い交通インフラ... 「京王線」「中央自動車道(調布IC)」

都市(新宿、渋谷)に近く、人を呼び込みやすい立地

坂道が多い。南北。

都心からのアクセスの利便性

自転車や徒歩などで安全に通行できるルートの検討

シェアサイクル

市内駅周辺の再開発が進むが、店舗や施設のコモディティ化により、個性がない(よくある街の風景)

自然と人々の暮らしが融合した調布駅前エリアの整備※今後も引き続きインフラ整備は調布市の中心である調布駅前エリアの充実を集中的に行うことが好ましいと思います

大規模イベントが可能な駅前広場の存在

豊かな自然を持ち素晴らしい景観の「多摩川」

自然資産が多い(多摩川、公園etc..)

東京の島(三宅島、神津島等)と飛行機で連絡する唯一の飛行場...調布飛行場(東京都保有)

調布飛行場の安全対策、厳格な運行管理、騒音 H27の墜落事故を重く受け止め安全管理の徹底や改善の必要性

市で使えるポイント施策を展開する<ポイントを付与する事案>・市の活動へ参加(ボランティア活動、避難訓練、イベント、介護、教育、環境美化)

デジタル化

都市農地の将来的な活用について、貸したい人と借りたい人とをマッチングさせるアプリやサイトなどを活用または開発支援をしてデジタル化を進めていく

次世代スマートシティ構想を調布市で例: <https://fujisawasst.com/JP/town/>

キャッシュレス化対応支援 個人商店等希望する人へのGooglemap等情報プラットフォームへの情報掲載支援

電気通信大学, UECアライアンスセンターがあること

電気通信大学の存在。(電気通信大学とのタイアップ、卒業生の企業支援、市との連携を条件に優遇措置を行う等で同大学の立地の利を最大に享受できる)

VRで調布観光ができるようになったら面白いのでは

市内各部署が連携することでイベントはもっと面白くなると思う。デジタル化による情報共有がカギになりそう

多言語情報サイト

観光協会の公式HPなどで市内の見どころを発信しているが、受け身の発信になっている→市内の施設・店舗に関わる市民のSNS投稿を活用してPRすれば特定の機関の稼働を上げずに発信力をUPできるのではないかと

調布市産の野菜を購入できる場所が認知されていない→調布市産の野菜を購入できる場所市内のポータルサイト等に掲載

SNSでのPRもしているが、影響力(フォロワー)が乏しい→市内の施設・店舗に関わる市民のSNS投稿を活用してPRすれば特定の機関の稼働を上げずに発信力をUPできるのではないかと

オンラインを活用した取り組み

防災・フェイズフリー

農地、スポーツ施設、多摩川河川敷等の広大な土地を災害時の避難所や廃棄物の集積所、仮施設の設置などに転用することが検討できる。

避難訓練の強化・市民に行動を促す施策(ポイント還元)。

余剰農地を臨時避難場所としてしようにできるように整備しておく(農地の倉庫にテントを非常用に備蓄など)

高校生フィルムコンテストのクオリティが高い

姉妹都市木島平村との交流

事業継承、跡地・居抜き後の活用(深大寺等)

中心市街地に旧街道の道幅や区画など風情が残っており、時系列での訴求もしやすい、現代なりの発展のさせ方ができる

区域ごとにわかりやすい特徴がありPRしやすい

その他

商店街の規模が小さい、繁華街としての魅力が少ない。(大規模店舗に客がとられている)

多くの人を訪れる駅前エリアの地価が上がるなどして個人商店・飲食・団体が活動しづらくなっている=街の色になる個人の顔が見えづらくなっている

飲食店とのイベントの在り方をコロナ禍で考えなくてはいけないと思う。テイクアウトのスタンプラリーにするなど。

フードドライブの実施

●: 2つ以上の意見

芸術・文化活動のインフラ

たづくり・グリーンホール・仙川劇場といった施設が豊富 ●

市内に大きな劇場やホールがあり, 催し物が豊富

調布の文化・芸術を発信するミュージアムがない。
例) 府中市美術館

芸術・歴史文化資料・施設などの維持費

桐朋学園があること

市内に音楽ホール、図書館等必要な施設が揃っており、一定レベルのプログラムが開催されている

文化活動が活発に行われている・文化会館たづくり、グリーンホール、仙川劇場での活動

武者小路実篤記念館, 郷土博物館の存在

武者小路実篤記念館, 実篤公園があること。

芸術・文化の発信

子どもの文化芸術体験のための機会を創出すること。例えば、横浜市やさいたま市で行われているような「アーティストが学校へ」など。子どもの家庭環境に関わらず今あるハードと招聘力を活かしたプログラムが実行されればと思います。

市内文化財に触れる機会が少ない

てつみちの利用。・芸術を発信できる場に

今後増える古民家の活用。映画のロケ地に 芸術家を支援するアトリエ等に

たづくりの展覧会は絵本の原画展やレゴブロック, 廃材を使ったアートなど, 大人から子どもまで楽しめる展示が充実している

グリーンホールや調布、国領駅などの駅前広場での催しが活発

歴史

市内小学校で、地域の歴史を学ぶことが出来る機会がある

歴史的文化財（神社仏閣など）が多い。

江戸から続いた街道文化の風情（寺社、宿、街道沿いの家の区画、一里塚等）が残っている

下布田遺跡の活用

近藤勇の史跡

深大寺銅造釈迦如来像（白鳳仏）があること。

平和・国際交流

サウジアラビア（ホストタウン）の交流事業が豊富

ピースメッセンジャー

外国人にわかりにくい案内

ラグビーワールドカップの盛り上がり

国際交流協会を活かしていない

多文化共生を進める必要がある

国際交流協会での外国人支援

平和都市宣言

広島市に加え、長崎市との交流

多言語化, やさしい日本語

人権・男女平等

男女共同参画推進センターがある

パートナーシップ制度

LGBTへの理解

人権啓発の充実を図る必要がある

調布の歴史を語る発信基地が欲しい
・郷土博物館（小島町）を表舞台（中心地）へ
※「歴史（今まで）」を理解し「未来（これから）」について市民が未来を語りあえる場に

市外からの転入者へ地域の歴史を間接的に伝える機会がない（直接的な啓蒙だとなかなか響かない）

歴史的文化財、及びその良さが市内外の人々に認知されていない

歴史文化が、郷土資料館の中におさまってしまいコンテンツ化されていない

武者小路実篤記念館, 郷土博物館のPRが弱い

●: 2つ以上の意見

生涯学習

近隣市でも上位の蔵書冊数を誇っていること。

様々な職業での経験・能力がある方が在住しており、その方々の経験・労力を引き出すことができる

生涯学習・サークルへの参加のハードル

生涯学習の機会が多い

生涯学習の講座等催し物は高齢者向けが多い気がする

子どもから高齢者まで色々な人が参加できるプログラムが行政や民間から発信されている

公立の学校が充実している

学習成果の活用

主に大型施設に充実した各種生涯学習の講座が行われている (例: 国領駅前ビルのカルチャーセンター)

広く認知されている調布のコンテンツが存在している・芸術 (映画・鬼太郎)。

調布市への帰属意識が低い市民に対して, 市の歴史文化のPR, 生涯学習を行う団体への参加促進を行う余地がある。これにより帰属意識の高まりを期待できる

相互友好協力協定締結大学との連携 (7大学)

京王線沿線7市図書館連携事業

映画のまち

映画の町の活性化・市民が関わる活動が少ない (知られていない)

国内有数の映画スタジオが市内にあり、ロケ地として利用されている

映画の存在を観光だけではなく, 文化や生涯学習の面からも活かす方法があるのではないかと

PR

自発的に上記認知を促すような施策が不十分

職員の認知度が低い

広報がたりないと感じる

デジタル化

図書館で電子書籍の貸出しを進めていくのも需要があるかもしれません。

市内の文化財・芸術に関わる市民のSNS投稿を活用してPRすれば特定の機関の稼働を上げずに発信力をUPできるのではないかと行政などの信頼されている機関が取りまとめて発信

オンラインを活用した取り組み

オンラインを利用して市の歴史文化や, 芸術の資源の発信がうまくできれば, コロナ禍においても接触する必要がないビジネスが確立できるのではないかと

防災・フェイズフリー

調布駅前広場など、フェイズフリーが適用されてはいはいるが、実際に市民に災害時のシュミレーションをしてもらうための防災デー (市民100人が実際に駅前広場でテントを張って宿泊してみるなど) を設ける

文化施設は市内に点在しており, 市民にとっても身近な公共施設だが, 老朽化が心配。一時避難スペースになり得るか疑問。

その他

深大寺や植物園の保全

●: 2つ以上の意見

スポーツ施設

味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザなどの大規模スポーツ施設があること。

公園・スポーツ施設が充実している

FC東京のホームスタジアムがあること

体育施設数が近隣自治体の中でも上位であること

スポーツ関連施設が充実しており、スポーツイベントの拠点になりやすい

味の素スタジアム, 武蔵野の森スポーツプラザ等の使用について, 市民であるが故に受けられる恩恵があまり多くない

味の素スタジアム, 武蔵野の森スポーツプラザ等国際大会や大規模大会を開催できる施設の存在

世界に誇れる充実したスポーツ施設を持つ「武蔵野の森総合スポーツプラザ」「味の素スタジアム」

充実したスポーツ施設を持ちながら、利用する市民が限られている「武蔵野の森総合スポーツプラザ」は大きい施設がゆえに一般市民からは敷居が高く感じる

調布市総合体育館へのアクセスが悪い
・ 駅から遠い
・ 駐車場費用が有料 (市民は無料にしては)

スポーツイベントが開催される拠点、飛田給駅周辺の駅開発 (店舗、ホテルなど) が不十分

スポーツ施設利用者が、市内でお金を落とす(飲食, 物品販売)仕組み作り

スポーツ施設の予約枠が少ない (使える人に限りがある)

施設の老朽化

FC東京・市内スポーツチーム

FC東京の存在。また、同チームに対する市のかかわり方は良いと思う。(積極的に情報発信しているように思う)

調布リトルの存在。(スポーツ, 教育の面で与える影響が大きい)

FC東京との連携事業
・ 子どもサッカー体験教室
・ あおぞらサッカースクール (障害児者向けスクール) など

地域にプロからアマまでスポーツ団体が数多くあり、触れられる機会が豊富

パラスポーツ

障害福祉・スポーツ振興の横断的取り組みの充実 (パラスポーツ体験など)

障害福祉以外の横断的な取り組みを増やす

イベント・啓発

デカ盛りウォークラリー・ワンコインイベント・スクラッチカードなどのイベントを活用した市内店舗への地域経済への支援が豊富

イベントの参加人口の増加

普段, スポーツをしない市民が約40%

高齢者が気軽にできるスポーツへの参加啓蒙を朝の体操、ウォーキング (コミュニケーションの場)

東京2020大会を契機としたレガシー

パラハートちょうふの取組 (地域共生社会に向けた取組)

近隣市との連携イベント (ラグビーフェスなど)

市民スポーツまつりや駅伝競走大会などの大規模イベントがある。

個々人・団体がスポーツ・レクリエーションをしやすい環境が複数ある

オリンピック・パラリンピアン存在 (調布市応援アスリート)

●: 2つ以上の意見

地域コミュニティ

地域コミュニティは他の自治体と比較して発達している?

市内で地域の問題解決のために活動している人がある、組織がある

自治会活動が少なくなっている

自治会, 町内会への参加者の減少

地区協の活動は毎年恒例のものばかりになっていないか

地域コミュニティ・レクが広報しきれていない

市内で地域の問題解決のために活動している人、組織が認知されていない

若者も地域コミュニティに興味を持ってもらう方が必要では

地区協議会が活発(地域によるかもしれませんが)

各自治会で街美化活動を積極的におこなっていること

地域コミュニティの構成員や参加している人の固定化

新規で地域コミュニティに参画するハードルが高い(新規参画者の能動的な認知・行動に頼っている)

マンション・アパートの増加による、コミュニティに触れない人の増加(いざというときの駆け込み場所の不在、災害時の声のかけ合いや連携がどこまで機能するか)

さまざまなレイヤーのコミュニティ、また拠り所がある

市外からの転入者、市内永住者が混在している

市内で活動している人同士が繋がるネットワーク、協働する仕組みが不足している

市職員と市民のコミュニケーションの機会が多い(と、HPや市報を見る限り感じます)

ネットワークや仕組みを統括する機関や組織がない

ふれあいの家(18施設)

市民活動支援センター(中間支援)

防災・フェイズフリー

デジタル化

デジタルスポーツイベント・レクリエーションの開催などから新しいスポーツ様式に関心を持ってもらうのも面白いかもしれません。

市民活動者同士が繋がることのできるプラットフォームサイトを官民合同で制作・管理(ちょみっとがイメージに近いが、双方向のコミュニケーションを取れるプラットフォームが必要)

市民の安否確認ができるサービス構築
・災害時に自身の安否や緊急対処を要望する事等を登録し、市職員や第三者がタイムリーに確認できる。素早い対処に繋げる(緊急時の市専用のSNSのイメージ)

核家族や高齢者の独身世帯も上記地域コミュニティに巻き込み、災害時の連絡網とする(現状の自治会を刷新(もしくは新しいネットワークを構築)し、若い世帯や市外からの転入者も災害時に孤立しないようにする)

市民活動者へのIT支援を安価で行い(オンラインMTGやSNSの活用方法を支援)、活動の場を広げる

オンラインを活用した取り組み

地区協で防災訓練を行っているところがある。いざという時に隣近所の顔が分かっているだけでなく、防災意識を一緒に高められるのは良いと思う